次世代リーダーの育成を図る

サテライトオフィススタッフ研修会を開催

８月28日、池田町の地域交流拠点施設「真鍋屋」で、県西部に進出しているサテライトオフィスの定着促進のため、スタッフを対象にした研修会が行われました。これは次期リーダーを担う人材の育成を図ることを目的としたもので、6月の第１回目に続き２回目の開催となりました。リモート参加となった方も含め約 10 名が参加し、近況や設定したゴール達成に向けての取り組み状況を一人ずつ報告しました。オンラインセミナーの参加など、参考になる取組みは参加者同士で共有しながら熱心に議論を交わしました。

お盆の夜にぞめきの音ひびく

志保り会が三味線流し

いけだ阿波踊りが中止となり静かなお盆となった池田の街並みに、８月14日風流な三味線によるぞめきの音色が響きました。この三味線流しは、池田町で三味線教室を開く志保り会が行ったもので、「阿波よしこの」のお鯉さんのお弟子さんでもある代表の星川恭子さんが「お盆に阿波踊りが無いのは寂しい。ご先祖様にもぞめきの音色を届けたい」と企画し、お弟子さんの頭師穂菜美さんとともに約１時間かけて池田町内の各通りを流したものです。見物される方の中には、思わず踊り始める方もおられました。

まちかど フォトニュース

予防対策で安全安心のおもてなし

大歩危・祖谷のホテルで衛生対策現地研修

県西部の観光振興に取り組む（一社）そらの郷では８月下旬、大歩危祖谷の５つのホテルで、新型コロナウイルスの感染防止のための衛生対策現地研修を実施しました。

８月18日には新祖谷温泉ホテルかずら橋で研修が行われ、食品加工事業者向けの衛生管理指導を行う（一社）にし阿波 BCP サービスの高瀬代表から、宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドラインの解説、宿泊客の動線に沿った消毒ポイントの確認、手洗いの実習が行われ、参加した従業員 11 人が熱心に受講していました。

厳（おごそ）かに工事の安全を祈願

西祖谷支所新築工事起工式を実施

旧庁舎が解体され更地となっている西祖谷支所の敷地内で８月５日、新支所新築工事の起工式が挙行され、市および工事関係者など 12 人が出席しました。

新しい西祖谷支所庁舎は旧庁舎よりコンパクトな木造２階建て（延べ床面積 680 ㎡）で、県産材を多く使用した秘境イメージにも合うデザインとなっており、完成は来年３月の予定です。起工式では、平埼神社西岡宮司によるお祓い、祝詞奏上、谷口支所長による鍬入れなどが行われ、工事の安全を祈願しました。

教育効果の高い受け入れ目指し

そらの郷が教育民泊研修会を開催

県西部の観光振興に取り組む（一社）そらの郷が、８月27日と28日の両日、教育旅行民泊受入農家らを対象とした民泊研修会を、県西部３か所で開催しました。

８月28日に山城公民館で行われた研修会には、11 人が参加。全国各地で教育旅行や体験プログラムの商品化、受入側の人材育成を行う（株）体験教育企画の藤澤安良代表から、新型コロナウィルス感染症における受入家庭が行うべき対策、民泊での注意点、全国の状況等についての説明があり、参加者は熱心にメモをとっていました。

伝統芸能に触れてみよう

三味線体験講座が開催されました

日頃なかなか習うきっかけのない三味線に触れてもらおうと、８月22日、中央公民館で三味線体験講座が開催されました。「鯉香」の頭師カヨ子さんが講師をつとめ、11 名が受講しました。まず三味線やバチの持ち方の講習から始まって、阿波踊りの「ぞめき」や「さくらさくら」を習い、粋な三味線の音を響かせました。受講された方は「思ったより難しかったが、練習を続けていずれは阿波踊り連で弾けるようになりたい」「三味線を支える左肩やバチを握る右指が痛くなったが楽しかった」と話されていました。

子どもたちの歓声が響き渡りました

池田ダム湖でウォータースポーツ体験講座

徳島県立総合大学校「まなびーあ徳島」西部校が、８月23日、美しい自然に囲まれた池田ダム湖でウォータースポーツの体験講座を開催しました。元レースラフティング日本代表の阿部雅代さんと中橋啓太さんを講師に迎え、小学生、中学生の親子 10 組 20 名が参加し、太陽が照りつける中で静水面でのラフティングとSUPを体験しました。

参加者は「池田ダム湖のきれいな緑の中でラフティングやSUPの体験ができて楽しかった」と話し、笑顔いっぱいでさまざまな川遊びを楽しみました。

おもしろいことや耳より情報など、身近なまちのニュースがありましたらお教えください。秘書人事課 ☎ 72-7646